

2014年3月期 決算説明資料



アクリーティブ株式会社

【東証一部 8423】

I. 2014年3月期 連結決算

	ページ
1. 2014年3月期 連結決算	3
2. 債権取扱高・債権買取収益	4
3. 債権取扱高 業種別	5
4. 業務受託収益	6
5. 金融費用	7
6. 販売管理費	8
7. 営業利益・経常利益・当期純利益	9
8. BSの概況	10

II. 2015年3月期の取組み

	ページ
1. 2015年3月期の取組みについて	12
2. 医療・介護分野の営業進捗	13
3. タイにおける債権買取事業の進捗	14
4. 今後の海外展開	15
5. 2015年3月期 業績予想 (2014.04.01～2015.03.31)	16

I . 2014年3月期 連結決算状況

1. 2014年3月期 連結決算

【PL概況】

(単位:百万円)

	2012.3	2013.3	2014.3	増減	前期比	(参考)2015.3 通期予想
債権取扱高	134,568	138,626	157,693	19,066	113.8%	-
営業収益	2,618	2,807	2,932	124	104.4%	3,154
債権買取収益	1,773	1,714	1,810	95	105.6%	-
業務受託収益	844	930	1,013	83	109.0%	-
その他収益	0	162	108	△ 54	66.3%	-
金融費用	317	288	200	△ 88	69.5%	-
金融費用率	12.1%	10.3%	6.8%	-	-	-
販売管理費	1,545	1,589	1,621	32	102.1%	-
販管費率	59.0%	56.6%	55.3%	-	-	-
営業利益	754	929	1,109	179	119.4%	1,276
営業利益率	28.8%	33.1%	37.8%	-	-	40.5%
経常利益	784	979	1,142	163	116.7%	1,300
経常利益率	30.0%	34.9%	39.0%	-	-	41.2%
当期純利益	708	853	1,177	323	137.9%	1,232
当期純利益率	27.1%	30.4%	40.1%	-	-	39.1%

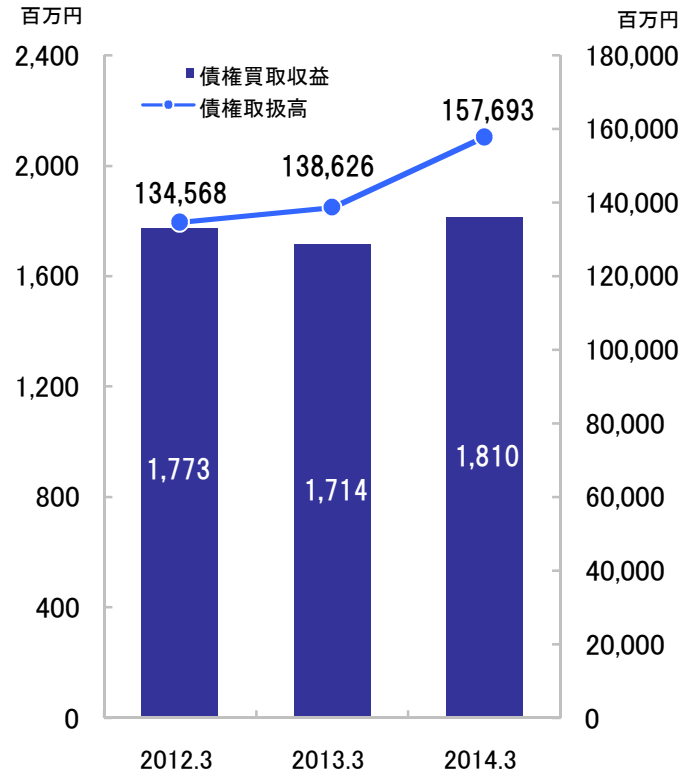
【BS概況】

(単位:百万円)

	2012.3	2013.3	2014.3	増減	前期末比
総資産	17,300	20,390	19,643	△ 746	96.3%
負債	15,284	17,566	15,680	△ 1,885	89.3%
純資産	2,015	2,824	3,963	1,138	140.3%

2. 債権取扱高・債権買取収益

債権取扱高・債権買取収益推移



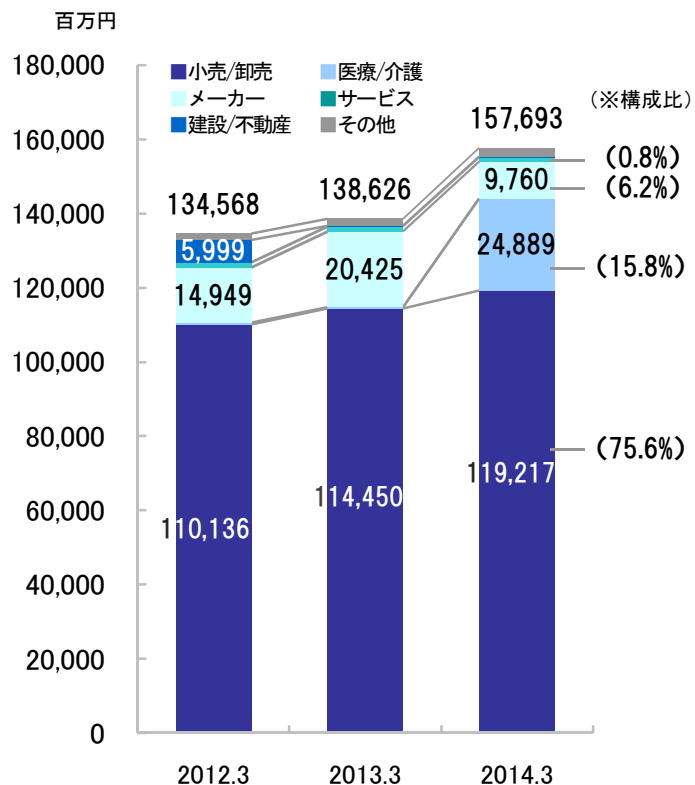
(単位: 百万円)

	2012.3	2013.3	2014.3	増減	前期比
債権取扱高	134,568	138,626	157,693	19,066	113.8%
債権買取収益	1,773	1,714	1,810	95	105.6%

➤ 当期M&Aで取得したアクリティブ・メディカルサービスが取扱う医療・介護分野が大幅に増加し、全体での債権取扱高・買取収益の増加に大きく寄与

3. 債権取扱高 業種別

業種別 債権取扱高推移

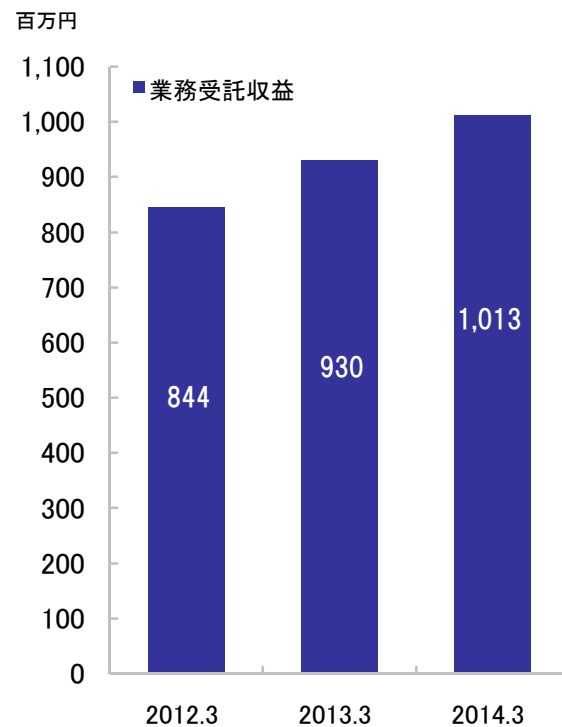


(単位: 百万円)

	2012.3		2013.3		2014.3		増減	前期比
	債権取扱高	構成比	債権取扱高	構成比	債権取扱高	構成比		
債権取扱高	134,568	100.0%	138,626	100.0%	157,693	100.0%	19,066	113.8%
小売/卸売	110,136	81.8%	114,450	82.6%	119,217	75.6%	4,766	104.2%
医療/介護	426	0.3%	259	0.2%	24,889	15.8%	24,629	9590.7%
メーカー	14,949	11.1%	20,425	14.7%	9,760	6.2%	△ 10,664	47.8%
サービス	1,374	1.0%	1,420	1.0%	1,314	0.8%	△ 105	92.5%
建設/不動産	5,999	4.5%	68	0.0%	19	0.0%	△ 49	28.5%
その他	1,681	1.2%	2,001	1.4%	2,491	1.6%	490	124.5%

4. 業務受託収益

業務受託収益推移



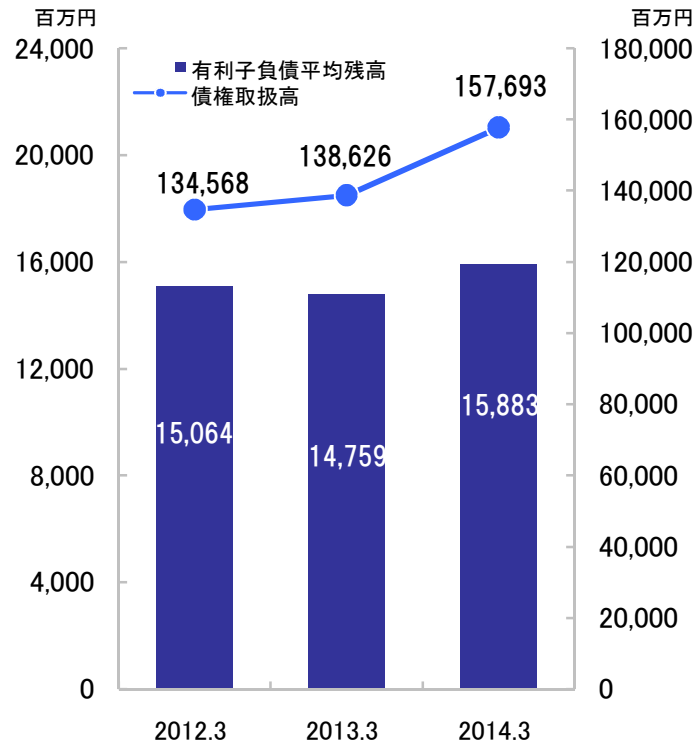
(単位: 百万円)

	2012.3	2013.3	2014.3	増減	前期比
営業収益	2,618	2,807	2,932	124	104.4%
債権買取収益	1,773	1,714	1,810	95	105.6%
業務受託収益	844	930	1,013	83	109.0%
業務受託収益率	32.3%	33.1%	34.6%	-	-
その他収益	0	162	108	△ 54	66.3%

- ▶ 既存提携先の取引高増加に伴う業務量の増加及び受託業務の範囲を拡大
- ▶ 結果、業務受託収益は前期比 109.0%

5. 金融費用

有利子負債平均残高推移



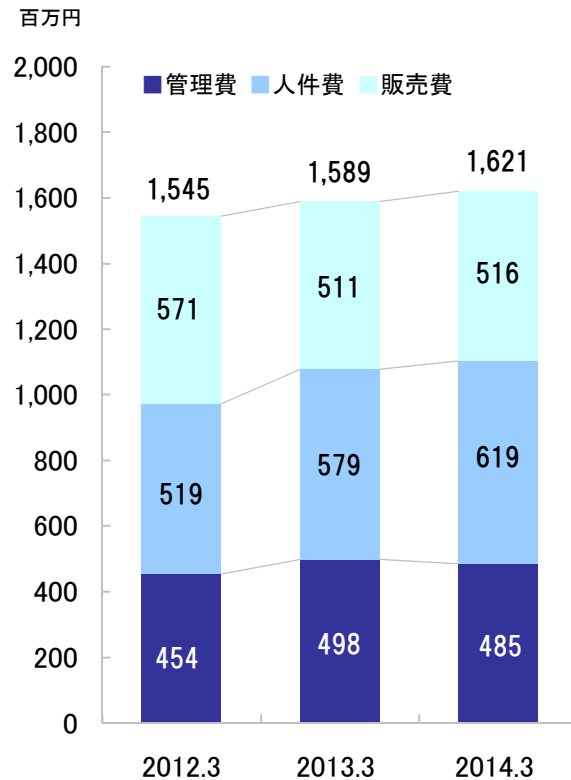
(単位:百万円)

	2012.3	2013.3	2014.3	増減	前期比
債権取扱高	134,568	138,626	157,693	19,066	113.8%
営業収益	2,618	2,807	2,932	124	104.4%
金融費用・社債利息	317	288	216	△ 72	74.8%
有利子負債残高	14,440	16,487	15,124	△ 1,362	91.7%
有利子負債平均残高	15,064	14,759	15,883	1,124	107.6%
金融費用・社債利息 営業収益	12.1%	10.3%	7.4%	-	-

- ▶ 有利子負債平均残高は増加したものの、金融費用は取引条件の見直し等により減少。営業収益に占める金融費用等の比率は大幅に減少し、7.4%
- ▶ 2年契約のシンジケートローンの導入や当座貸越枠の増額により、安定的で効率的な資金調達が可能体制が実現

6. 販売管理費

販売管理費推移



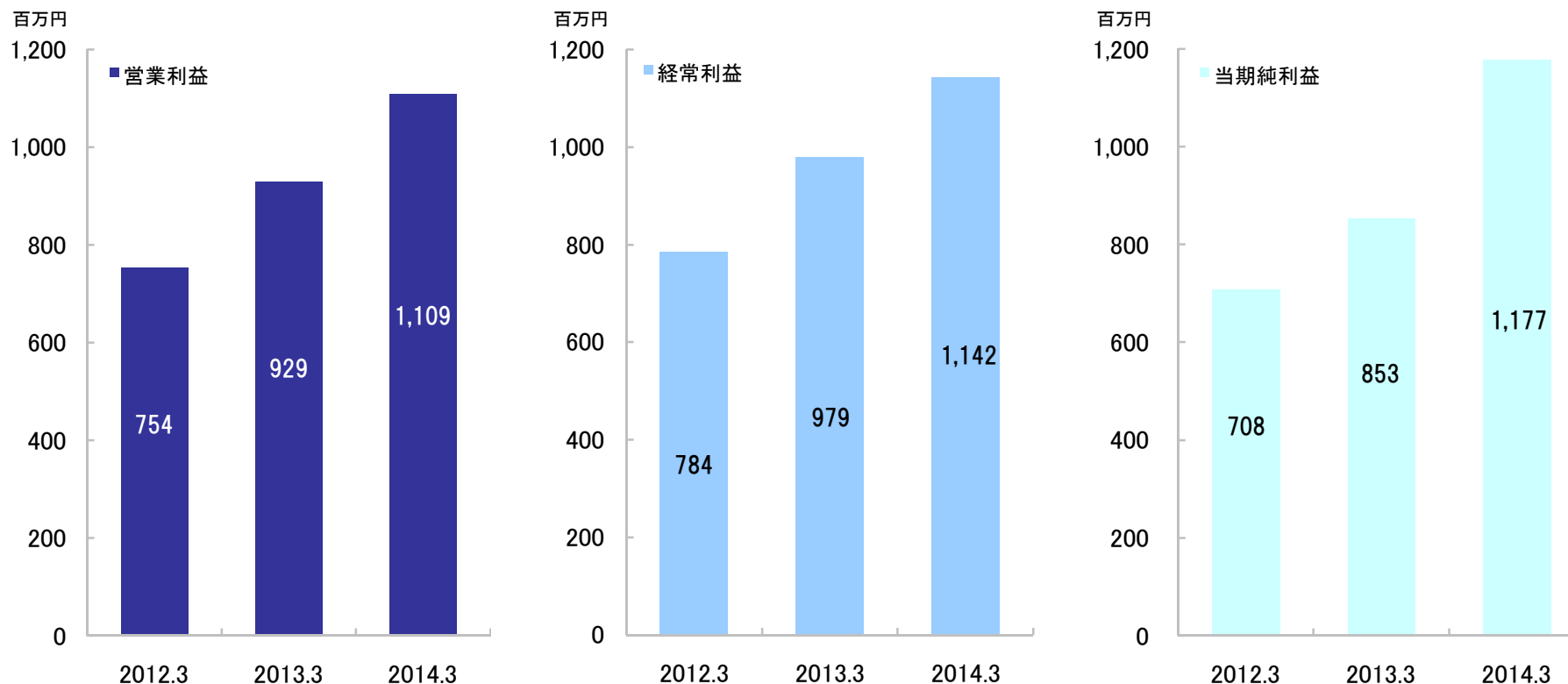
(単位: 百万円)

	2012.3		2013.3		2014.3		増減	前期比
	対営業収益比		対営業収益比		対営業収益比			
営業収益	2,618	100.0%	2,807	100.0%	2,932	100.0%	124	104.4%
金融費用	317	12.1%	288	10.3%	200	6.8%	△ 71	69.5%
販売管理費合計	1,545	59.0%	1,589	56.6%	1,621	55.3%	32	102.1%
販売費	571	21.8%	511	18.2%	516	17.6%	5	101.1%
人件費	519	19.8%	579	20.6%	619	21.1%	40	107.0%
管理費	454	17.4%	498	17.8%	485	16.6%	△ 13	97.3%
営業利益	754	28.8%	929	33.1%	1,109	37.8%	179	119.4%
社員(人)	60	-	72	-	83	-	11	115.3%
(全従業員(人))	196	-	214	-	237	-	23	110.7%

▶ M&A等による業容拡大及び既存提携先の取扱業務量増加により、販売管理費は微増し
前期比 102.1%

7. 営業利益・経常利益・当期純利益

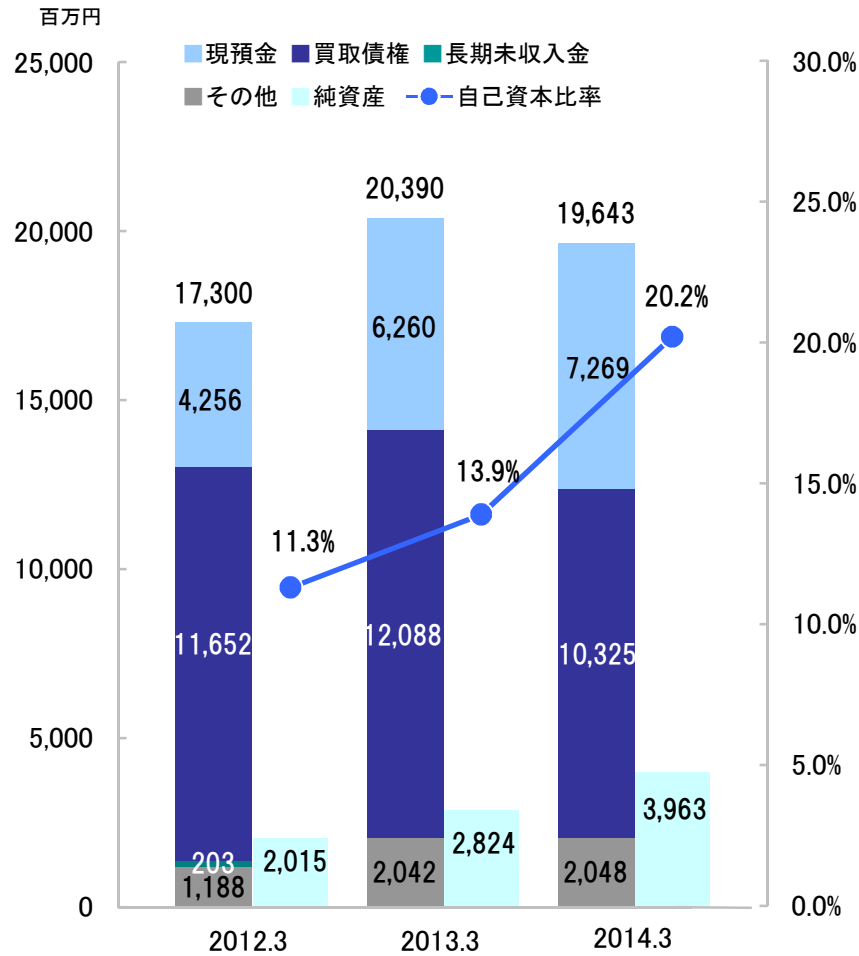
営業利益・経常利益・当期純利益の推移



- ▶ 営業利益・経常利益が順調に推移したほか、子会社所有の不動産売却により、特別利益が発生
- ▶ 結果、当期純利益は大幅に増加し前期比 137.9%

8. BSの概況

資産・純資産推移



(単位: 百万円)

	2012.3	2013.3	2014.3	増減	前期末比
総資産	17,300	20,390	19,643	△ 746	96.3%
純資産	2,015	2,824	3,963	1,138	140.3%
自己資本比率	11.3%	13.9%	20.2%	-	-

- 総資産は微減したものの、利益の積上がりにより純資産は増加
- 結果、当期自己資本比率は大幅に上昇し、20.2%

2015年3月期の取組みについて

1. 2015年3月期の取組みについて

FPS・オーダーメイドの金融サービス

1. FPSの状況
 - ・ 新規提携先獲得に向けた営業活動を推進
 - ・ 納入企業向けサービス及び利便性の拡充
2. オーダーメイドの金融サービスの状況
 - ・ 幅広い顧客企業向けに、個別資金ニーズの掘り起こしを強化

医療・介護分野

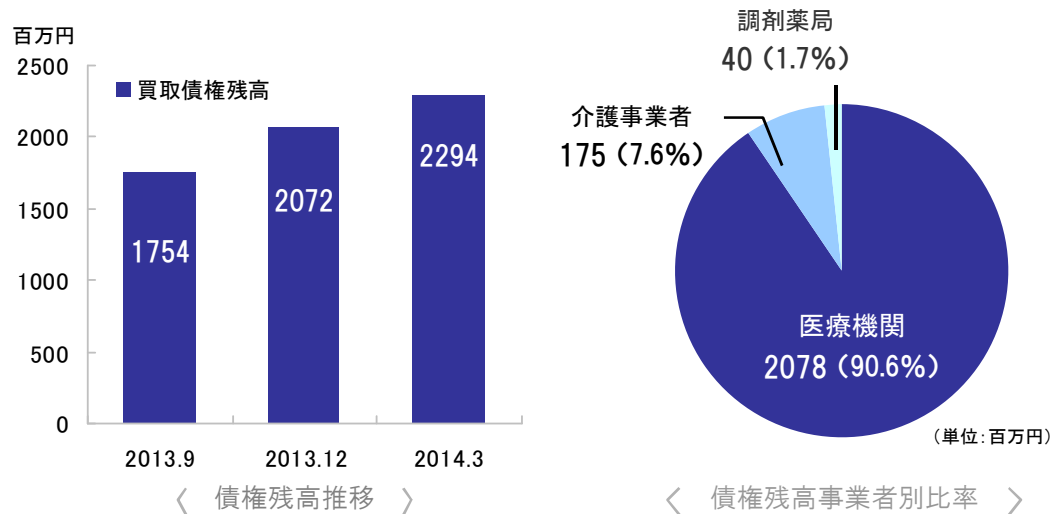
1. 医療機関を中心に、提携先と利用頻度の拡大。債権取扱の金額は堅調に推移
2. 今後更なる成長が見込まれる介護分野へ対応を強化

海外事業

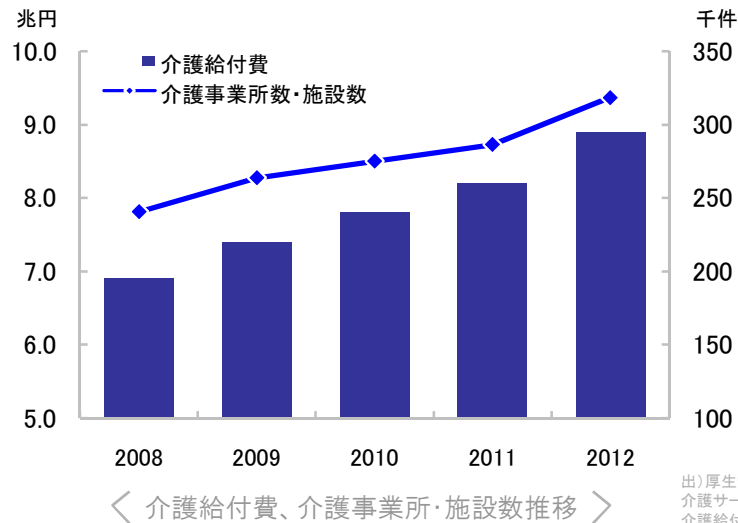
1. カンボジア
 - ・ グループ全体のアウトソーシングサービスの拡張を検討し、グループ全体でのコスト削減を図る
2. タイ
 - ・ 2013年8月に設立したアクリーティブ・タイランドが順調に稼働
 - ・ 日系企業向け債権の取扱いを推進
3. 今後の海外展開
 - ・ ASEAN地域及びアメリカへの展開に向け、市場を調査中

2. 医療・介護分野の営業進捗

アクリティブ・メディカルサービス



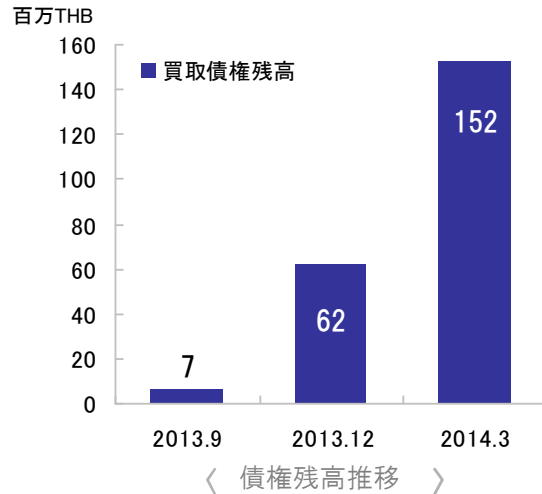
- サービス内容の充実度及び信用力・資金調達力において競合他社への優位性を確立
- 医療機関を中心として、順調に顧客を確保



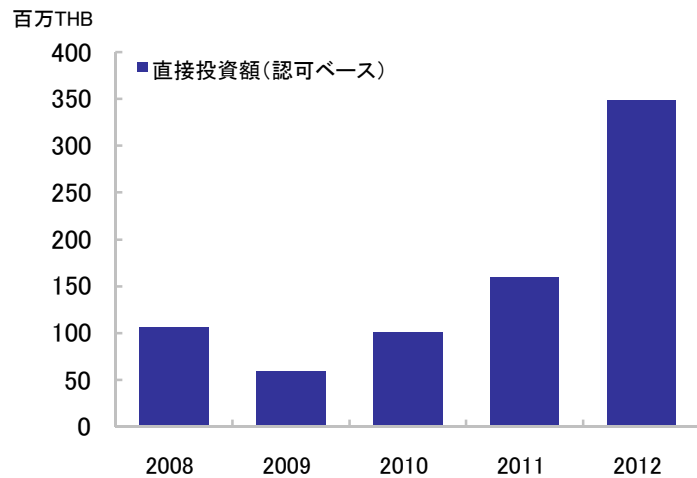
- 注目度が高く、成長マーケットである介護分野において、介護関連ビジネスを展開する企業との協業等も視野に入れ顧客の開拓を図る

3. タイにおける債権買取事業の進捗

アクリーティブ・タイランド



- ▶ 自動車部品メーカー、電機部品メーカー等の現地下請企業を中心として、順調に顧客を獲得

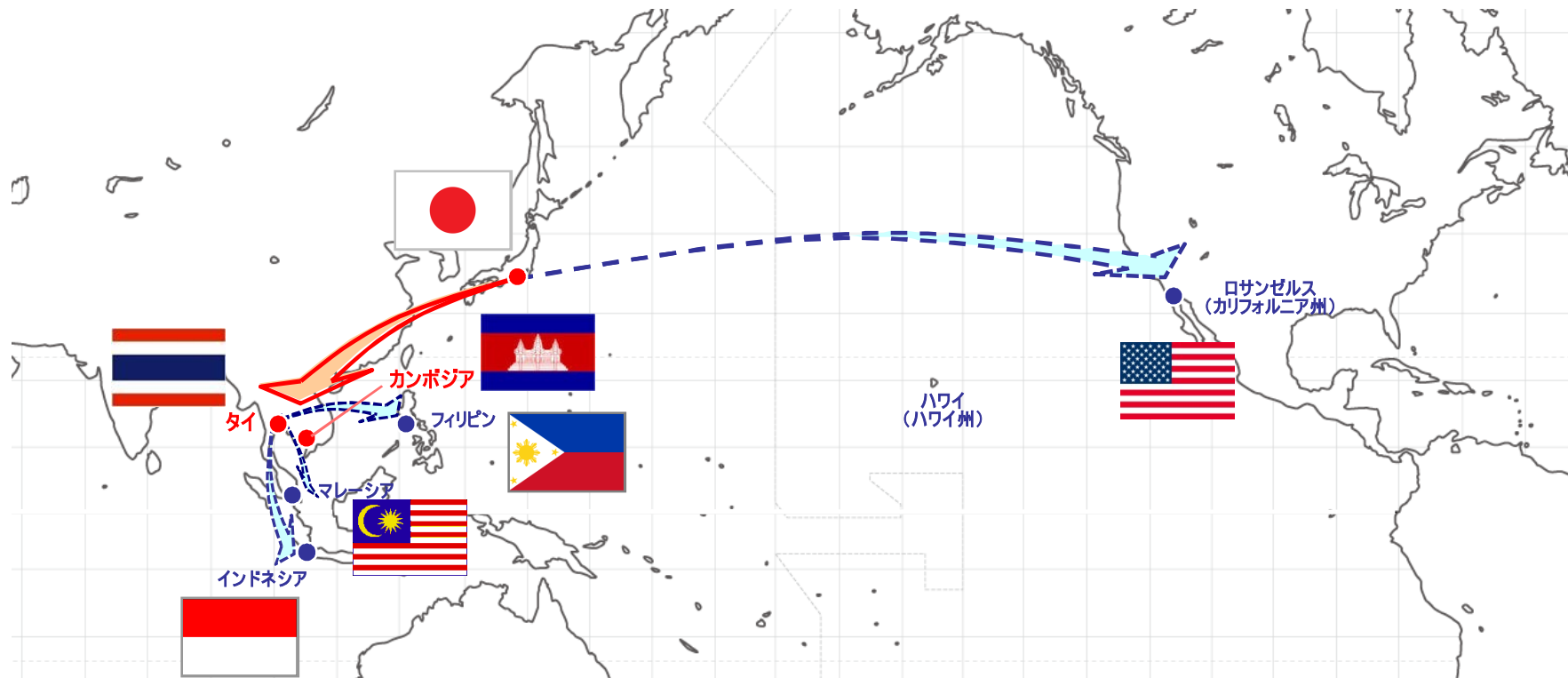


- ▶ タイ国内においては、近年、日本企業の進出が増加
- ▶ 現地競合他社では取組みが難しい、日系企業のファイナンスニーズを積極的に取込む

〈日本からタイへの直接投資額(認可ベース:年度別)〉 出)タイ投資委員会(BOI)より

4. 今後の海外展開

ASEAN地域・アメリカへの展開



- ▶ 成長マーケットへの事業展開を目指し、ASEAN地域を中心に市場調査を実施
- ▶ ドン・キホーテグループのアメリカ進出に伴い、金融サービスの提供に向け調査を開始

5. 2015年3月期 業績予想 (2014.04.01～2015.03.31)

業績予想

(単位:百万円)

	2013.3	2014.3	2015.3 通期予想	増減	前期比
営業収益	2,807	2,932	3,154	221	107.6%
営業利益	929	1,109	1,276	167	115.0%
経常利益	979	1,142	1,300	158	113.8%
当期純利益	853	1,177	1,232	55	104.7%
営業利益率	33.1%	37.8%	40.5%	—	—
配当 (円/株)	0.00	0.00	2.30	2.30	—

配当方針

- ▶ 2015年3月期は、業績の向上や財務体質の回復が進み、継続的に安定した配当を行う体制が整う見込みであることから、7期ぶりに復配を予定

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、

リスクと不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、

予想対比変化する可能性があることにご留意ください。

■ 資料に関するお問合せ先

アクリーティブ株式会社 管理部

電話番号 03-3552-8701

E-mail ir@accretive.jp